

1年生学年だより

令和3年2月17日(水)
島本町立第二中学校
1年生学年教職員
No. 11

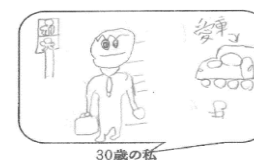
◇進路学習に取り組みました!! (1/22~)



中学校に入学してはや1年が過ぎようとしています。進路学習では、大人になった自分の姿を今の夢や目標と重ねつつ、そこに至るまでの道筋を考えました。次にそれを達成するためには中学校卒業までの約2年間学校生活をどのように過ごせばよいのか「私の未来設計図」にまとめてみました。また自己申告書、調査書、公立高校受験のしくみ、アドミッションポリシーについても詳しく学びました。

~進路学習をして 感想~

- ・自分が向いている仕事や、世界にはどんな仕事があるか、卒業後どのように生きるか、どんな高校に行くのか、その高校が求めている生徒像は何なのか、細かいことを資料で知れて3時間あっという間だった。
- ・あらためて自分の将来のことを考えることができてよかったです。とてもよい時間でした。
- ・自分の未来設計図をつくってみて、まだ自分の未来には様々な可能性があることがわかった。
- ・余り先のことを考えていないので先のことを考えることができてよかったです。この未来設計図をもとに生きることができるように頑張ろうと思った。目標の文武両道を達成できるように頑張ろうと思った。そのために何ができるかなど考えるきっかけになった。



◇福祉体験学習に取り組みました!! (1/29~)

今年度、コロナの影響で校外での取組や島本町福祉協議会から講師で来て頂くこともできなくなり、学校内で学年の先生が講師になり、クラス毎にそれぞれのテーマで取り組みました。最後に一人ひとりが新聞づくりに取り組み、学んだことや印象に残ったことなどをまとめました。

・最初に体験学習を始める前に、耳が聞こえないという体験をテレビの音量をゼロで行い、どれくらいの内容が理解できたのか、みんなで交流し感想をまとめました。次に映像「響希の未来~全盲の少年と家族の12年」をみました。内容は、小さい時に病気で視力を失いながらもたくましく生き抜く響希さんと響希くんを支える家族や周りの姿を描いたもので大きな感動を受けました。

・体験学習は2時間の設定で、1組：点字体験、2組：高齢者体験、3組：手話体験でどのクラスも興味深く一生懸命に取り組みました。

1組〔点字体験〕

2組〔高齢者体験〕

3組〔手話体験〕

写真

写真

~盲目のドラマー「響希の未来」感想~

・今回の響希さんの日常生活を見て、障がい者の人たちの苦勞が分かった。しかし、ドラムがとても上手になったり、人一倍練習していて、ものすごく努力をして来られた方たちがたくさんいらっしゃるということが分かりました。また家族も、障がい者の方に寄り添って歩いていこうとしている姿が見られました。自分は今何も不自由な体ではないのに、気に入らないことがあったらイラッとして弱音を吐いてしまう自分がいやになった。この動画をきっかけに何かの役に立ちたいと自然に思える人になれるように頑張ろうと思った。

◇学年末テスト (2/24~26)

2月24日(水)から学年末テストが始まります。この1年間の締めくくりとして、また日頃の成果を充分発揮できる場として計画的に準備を進め頑張らしましょう。提出物も期限を守って、必ず全て余裕を持って提出できるようにしましょう。

	2月24日(水)	2月25日(木)	2月26日(金)
1時間目	英語	社会	数学
2時間目	理科	国語	美術
3時間目	保体	音楽	技家

*テスト期間は制服登校 *26日(金)、クラブ活動がある場合は、一旦下校後各クラブから連絡された時間に再登校。

教科	範囲	提出物	先生からのアドバイス
国語	<ul style="list-style-type: none"> 教科書 P.73～77 P.133～134 P.186～187 P.202～217 P.222～229 問題集(りんごのワーク) P.39～43、P.76 P.112～113 P.121～131 P.136～141 漢字ノート P.70～79 すらすら文法 P.14～15 実力問題(随筆) 	<ul style="list-style-type: none"> ①授業ノート ⇒各クラス、授業で点検します。 ②問題集(りんごのワーク) P.39～43、P.76 P.112～113 P.121～131 P.136～141 ⇒丸付けもする。テスト当日、国語係が回収して視聴覚室へ提出。 	『空を見上げて』『少年の日の思い出』は、本文の内容を頭に入れておこう。 問題集(りんごのワーク)や学習プリントの問題は何度も取り組み、解けるようにしておこう。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 「歴史」 教科書 P.24～P.85 自主学习 P.8②～P.49 	<ul style="list-style-type: none"> ①授業ファイル ②自主学习ノート P.3②～P.23 →以上をテスト終了日の終礼で、係が集めて出席番号順にし、三階教材準備室へ提出 	非常にテスト範囲が広いです。この時代だけ！ではなく、まんべんなく見直すこと。教科書や自主学习に記載されていることからの出題がほとんどです。
数学	<ul style="list-style-type: none"> 教科書 P.205まで 補助教材 P.4～P.11 問題集 P.137まで&P.144 白ブリ39まで これまで学習した範囲からの復習問題も出題します。 ※テスト時に、直定規とコンパスが必要です。 	<ul style="list-style-type: none"> ①授業ノート ⇒各クラス、テスト前最終授業で点検します。 ②問題集 ⇒丸付けもする。テスト当日、数学係が回収して視聴覚室へ提出。 	作図、円やおうぎ形の計算、立体の表面積や体積などの問題は、くり返し演習を積んでおきましょう。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 教科書 P.130～P.189 問題集 P.54～P.83. 授業プリント No31～No49 ※テスト時に、定規が必要です。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題集 P.66～P.83. プリント No31～No49 テスト当日、理科係が回収して理科1室へ提出	<ul style="list-style-type: none"> 授業プリントを中心に、問題集を繰り返し学習しましょう。密度、気体、水溶液、状態変化、光の性質
英語	<ul style="list-style-type: none"> 教科書：P.99～128 授業プリント ジョイフルワーク：P.100～128 	<ul style="list-style-type: none"> ジョイフルワーク：P.100～128 まとめノート：教 P.100～101、 	<ul style="list-style-type: none"> 現在進行形、過去形の肯定文、疑問文、応答文、否定文を理解しておこう。 ing の付け方、ed の付け

英語 (続き)		P.102～103 P.112～113、 P.114～115 (見開き4ページ) ※テスト当日の終礼必切	<ul style="list-style-type: none"> 方を覚えよう。 動詞の過去形(不規則動詞)を覚えよう。 テスト範囲の単語、熟語を覚えよう。 テスト範囲の単語、動詞の過去形の ed を発音できるようにしておこう。 1年生1・2学期の文法を復習しておこう。 	
美術	<ul style="list-style-type: none"> 美術資料 P.3、P.64～69 (P.68除く) P.71、P.152、P.153 その他授業で学習したこと。	3時間目終了後、美術ファイル提出。プリント類をファイリングして整理しておく。	実技問題：ものさし、鉛筆(シャープペンではなく)が必要です。レタリングの練習プリントは必ず仕上げておこう。	
保体	<ul style="list-style-type: none"> 教科書「新中学保健体育」 P.20～P.31 P.32～P.33「章のまとめ」 *「章のまとめ」は学習した部分のみ 学習プリント 	なし	<ul style="list-style-type: none"> 「章のまとめ」をしっかり理解しよう。 *活用問題はテストの記述問題になる可能性大! 学習プリントの内容を覚えよう。 	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 教科書 P.36～P.39「魔王」 教科書 P.84、84①、84②「楽典」 校歌 	テスト後にパートナー提出。	<ul style="list-style-type: none"> 校歌の歌詞を見直してしっかり覚えましょう。 1年の内容全部復習すること 	
技家	技	教科書 P.36～37、P.196～197、 P.202～P.203、P.206～P.215、 P.260～P.265 プリント 「製作品を丈夫にする方法を知ろう」、 休校中の課題プリント「技術課題(情報)No.1～No.2」	特になし	基本的な内容を中心に出題します。情報は特に休校中の課題プリントをしっかりと見直しておくこと。
	家庭	教科書 P.22～41、P.50～57、 P.84～89 プリント 食①～⑩ ①は「ごはんちゃんと食べてる？」のプリントです。給食の献立作成も入ります。	授業ノート(テスト当日、家庭科係が番号順に集めて被服室に持ってくる)	栄養素の種類と働きは必ず出題します。教科書、配付プリントの内容をしっかりと見直すこと。